



2009.10

No. 189

MONTHLY

れんごう

北海道

<http://www.rengo-hokkaido.gr.jp>

毎月5日発行 定価1部10円(組合員の購読料は組合費を含む)
1996年3月8日第三種郵便物許可

発行

日本労働組合総連合会 北海道連合会

発行責任者 村田 仁

〒060-8616 札幌市中央区北4条西12丁目 ほくろウビル6F TEL (011) 210-0050 center@rengo-hokkaido.gr.jp

はたらく女性の集会開催

2009連合北海道女性委員会

10月3日(土)連合北海道女性委員会はたらく女性の集会在ポールスター札幌で開催され、全道各地から約200名が参加した。

主催者挨拶で松田女性委員会委員長は、「非正規職員が増加しているとともに、女性が働く職場や生活基盤は悪化している。男女雇用機会均等法が成立したが、第1子の誕生を期に退職する女性は7割にもなっている。さらに、労働相談数も増えている。辞めてからの相談も多く女性労働者が雇用の調整弁となってしまう。衆議院選挙で政権交代が実現したが、男性も女性も共にはたらく場をつくるのが大事」と述べた。

また、8月30日の選挙において比例代表で見事当選した工藤仁美さんから、国会登院時に感じた責任の重さを踏まえ、今後も非正規労働者の課題解決とともに、はたらく女性の課題解決に向け、はたらく仲間の一員として頑張っていきたいとの抱負が述べられた。

集会では、臨床心理士の西村淑恵さんより「働く女性のメンタルヘルス ~忙しい毎日を乗り切るために~」と題した講演が行われた。西村さんからは、ストレスの原因やストレスを感じた時の対処法、また、メンタルヘルスをより良く保つための対応などが話



された。参加者からは、年齢に応じた労働観をどう持つのか、相談者からの悩みを聞く場合、自分自身がストレスにならないためにはどのようにすると良いのかとの質問が出された。

職場報告では、自治労安平町職から、町合併時(早来町・追分町)の職場の様子や女性委員会設置に向けた取り組み、サービス・流通連合から、職場における非正規社員から正社員の登用などの昇給のあり方や賃金体系向上などの取り組みが報告された。



この記事のアドレス http://www.rengo-hokkaido.gr.jp/monthly/2009/monthly_new_2009_003_2009working_women.html

「2009平和行動in根室」開催

600名が参加し北方四島について学習

連合主催「2009平和行動in根室」が9月12日～13日、根室市で開催された。

12日は北海道立北方四島交流センター(ニ・ホ・ロ)で北方四島学習会を行い、約600名の参加者は「ふるさと北方四島への思い」「北方四島の現状」「北方四島の海鳥」「ラッコのクーちゃん」と領土問題」「ロシア風水餃子「ペリメニ」づくり」の5セミナーに参加し、認識を深めた。

13日には、納沙布岬・望郷の岬公園にて「2009平和ノサップ集会」を開催する予定であったが、暴風雨のため、やむなく北方館に会場を移し開催した。全国から1,000人を超える組合員が集結していたが、急遽、室内での開催となったため、会場からあふれてしまう組合員も多数いた。

主催者あいさつの中で連合本部古賀事務局長は「ソ連から始まる不法占拠状態にある四島の一括返還こそが、元島民、国民の願いである。また、択捉島に現存する戦前の日本家屋である、択捉島水産会事務所と紗那郵便局の復元、保存運動にも取り組まなければならない。この集会で四島返還の思いを一つにして、地域、職場に戻り、運動を構築して頂きたい。」と述べた。また連合北海道高柳会長は「ビザなし交流の受け入れ拒否など、この間のロシア側の対応は極めて遺憾である。しかしながら、この度の政権交代により、北方四島問題も新たな局面を迎え

る。特に鳩山代表は日本ロシア協会の会長でもあり、新政権には四島問題解決の面でも期待したい。」と述べた。そのほかに山本北海道副知事、石垣副根室市長、児玉北方領土返還要求運動連絡協議会事務局長、仲野ひろ子民主党衆議院議員が来賓のあいさつを述べた。

その後、元島民である鈴木咲子さんが元島民の心情を訴え、連合北海道高柳会長から連合沖繩中村会長にピースフラッグがリレーされた。続いて中澤根室市職労書記長が一部ロシア語で集会アピール案を読み上げ、採択された。最後に連合釧根地域協議会小柳会長の音頭で力強くがんばろうを三唱し、集会を終了した。

この記事のアドレス http://www.rengo-hokkaido.gr.jp/monthly/2009/monthly_new_2009_0913_peaceinnemuro.html



第4回ボランティア講座を開催

「障がい者サポート研修」で車いすを体験

連合北海道は9月26日、第4回ボランティア講座を開催した。今回は「障がい者サポート研修」として、講師に北海道社会福祉協議会の黒川主事を、オブザーバーにDPI北海道ブロック会議の東事務局次長を招き、「車いすの

構造と取り扱い、学習と車いす体験」を行った。

受講者は、まず、車いすの構造と取り扱いについての講義を受け、続いて2人のペアで、会場の自治労会館から札幌駅まで実際に車いすに乗り、車いす体験を行った。

受講者からは「車いすだと普段気にしていないようなちょっとした段差でも、非常に不自由を感じた」「車いすに乗って人ごみの中に入るのは少し怖かった」などの感想が寄せられた。最後に黒川講師は「参加された皆さんは障がい者の方々の気持ちを理解することが出来たと思う。障がい者の方々が普通に暮らせる社会、町を作る、



ノーマライゼーションを実現しなければならない」と述べた。

今回は、10月17日(土)に、実際に障がい者の方々と一緒に円山動物園での実習を行う予定。

この記事のアドレス http://www.rengo-hokkaido.gr.jp/monthly/2009/monthly_new_2009_0926_volunteer_4th.html



第4回政策委員会を開催

道への「要求と提言」作成の基本的な考え方を確認

連合北海道は、10月1日、第4回政策委員会を開催し、来年度の道予算に対する「要求と提言」作成に向けた基本的な考え方を確認した。その内容は下記のとおり。

2010年度道政の重点課題に関する「要求と提言」の基本的考え方(案)

1. 市場原理主義がもたらした格差拡大と地域社会の疲弊

政府が2004年度から3年間で行った「三位一体の改革」で約5.1兆円の地方交付税および臨時財政対策費を削減したことなどにより、自治体間の格差が拡大し、自治体は厳しい財政運営を迫られている。

さらに、地方の景気低迷に対して何ら有効な対策を講じなかったため、地方の疲弊は進み、追い打ちをかけるかのような昨年来の金融危機によつて、地方経済は危機的状況に追い込まれている。

地域格差、所得格差、教育格差、医療・福祉などすべての社会面で「格差」が噴出している。

特に、雇用情勢はさらに悪化し、北海道の7月の有効求人倍率は、0.32倍で25ヵ月連続で前年を下回った。来年春の高卒者の求人倍率は、同じ7月末で0.26倍と10年ぶりの大幅下落になっている。4～6月期の完全失業率は、5.4%で、前年同期より0.4ポイント悪化し、完全失業者数は15万人と1万人増えている。

「雇用の崩壊」は「失業」へ、そうして小泉構造改革によってズタズタにされた社会的セーフティネットの機能麻痺により、あってはならない「絶対的貧困」を発生させている。

2. 政権交代 - 政策転換を求めた国民の審判

連合は、2006年秋以降、地道に「STOP! THE格差社会」キャンペーンの取り組みを行ってきた。それは、2007年夏の第21回参議院選挙での与野党逆転、そして、今回の歴史的な政権交代に結びついていると考える。

連合北海道も、地方分権・行財政改革のもとで地方切り捨て・地方自治体財政の悪化、倫理なき市場原理主義の横行で働くルールの崩壊、労働の尊厳も失われ、医療・介護・福祉の分野まで弱者切り捨ての政治に、地域住民とともに地域医療の確立にむけた取り組みや反貧困キャラバン、道民生活・経済・産業危機突破にむけた取り組み、緊急雇用対策の取り組みなど、今こそ、政治と政策の転換が必要であると訴えてきた。そのことが多くの道民のみなさんの政治への関心を高め、投票率の向上となり、政権交代を実現させる原動力となったものと考えている。

民主党を中心とする新しい政権は、「後期高齢者医療制度の廃止」「母子加算の復活」など、社会的に弱い立場にある人達への対応、「ハッ場ダム」などの大型公共事業における政策遂行のあり方見直しなどを始めている。

国民に約束した公約、官僚主導の中央集権から地方

が主体の地方分権型社会への転換、格差を是正し、互いの尊厳を保つ、人が人らしく生活する「友愛」による福祉社会づくりへの歩みを国民は見守っている。

3. 福祉社会の実現にむけた道行政の役割

勤労者と道民生活のあり方を代表する立場にあるとする連合北海道は、これまで主張してきたことの実現を、道民のみなさんから注視されているという自覚を持って、民主党とより一層の連携を深めつつ、道民の総意に基づく社会の改革、まじめに働く者が報われる社会の実現に、労働運動の立場から役割を果たそうと考える。

北海道は、昨年秋以降の世界同時不況の影響を受け、

麻生政権で執行された大型景気対策の効果もほど遠く、依然として産業・経済は低迷し、道民所得の低下、雇用環境の悪化、消費の不振が続いている。

さらに、人口減少、地方の疲弊、医療の崩壊などにより、道民生活は混迷の度を深めている。

連合北海道は、地方が主体の地方再生が急務であると考え、

そのために、2010年度道政の「要求と提言」の最重点課題を雇用創出効果を念頭に置いた経済・産業政策の実現とし、地域社会におけるセーフティネットとしての医療・福祉・教育の確保・充実を基幹的な課題として、以下に掲げる要請項目に整理・策定していくこととする。

2010年度(平成22年度)道政の重点課題に関する要求と提言(項目原案)

1. 道内経済・産業の振興と安定的雇用の確保・創出

- (1) 雇用対策の強化と雇用創出策の具体化
- (2) 地域経済の活性化と中小企業の振興
- (3) 農林水産業の振興と地域活性化
- (4) 循環型社会をめざすエネルギー・環境政策

2. 地域社会を支える医療・福祉・教育の確保・充実

- (1) 安心・信頼の地域医療の確保
- (2) 障害者施策の推進
- (3) 地域における教育機会の保障

3. 道民・地域の目線に立った道行財政改革、地方分権改革の推進

4. 対外政策・平和



10月の主な動き

イベントカレンダー

第4回政策委員会

1日(木)10:00 / ポールスター

安全センター-POSITIVEセミナー

2日(金)13:00 / 連合北海道会議室 ~ 3日

はたらく女性の集い

3日(土)13:00 / ポールスター

第25回中央執行委員会

6日(火)13:30 / 総評会館

幌延深地層研究所事業計画説明会

6日(火)15:00 / 連合北海道会議室

第6回地方連合代表者会議

7日(水)14:00 / 総評会館

連合第11回定期大会

8日(木)09:00 / 東京国際フォーラム ~ 9日

連合結成20周年記念レセプション

9日(金)13:00 / 帝国ホテル

最賃110番相談ダイヤル

13日(火)10:00 / 連合北海道会議室 ~ 15日

最賃発効日周知街宣

13日(火)12:00 / 札幌駅前

第11回執行委員会

14日(水)10:30 / 連合北海道会議室

産別・地協代表者会議

14日(水)13:30 / KKR札幌

非正規労働対策委員会第3回幹事会

15日(木)14:00 / 連合北海道

第5回ボランティア講座

17日(土)09:00 / 円山動物園

女性委員会総会

17日(土)14:00 / ポールスター

第4回食・みどり・水を守る道民の会植樹祭

18日(日)08:30 / 支笏湖

原子力防災訓練事前会議

19日(月)13:30 / 連合北海道会議室

2009ディーセントワーク集会

20日(火)15:00 / 自治労会館

連合北海道第22回定期大会

27日(火)10:00 / 厚生年金大会

原子力防災訓練調査団会議

28日(水)16:00 / いわない高原ホテル

原子力防災訓練調査活動

29日(木)08:00 / 岩宇4町村

退職者連合第17回定期総会

29日(木)13:00 / KKR札幌

第1回中央執行委員会

29日(木)13:30 / 総評会館